

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	41	学校名	静岡県立 静岡商業 高校	記載者	松浦 真一郎
------	----	-----	--------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	社会人基礎力育成のため、ビジネスマナー、倫理観、規範意識、情報モラル等、社会性に優れた生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に挨拶が習慣化されていると感じる生徒 80%以上 ・清掃活動にしっかり取り組んでいる生徒 80%以上 ・健康面で自己管理し、欠席・遅刻・早退をしないよう意識して学校生活を送れている生徒 90%以上 ・情報モラルを理解して、スマートフォン等の情報機器を使用している生徒 80%以上 	A	A	<p>チームワークや課題解決力を養う「QCサークル」的な活動が素晴らしい。</p> <p>ビジネスマナーや地域連携の成果を高く評価する。</p> <p>生徒と教職員の評価の差があるが、目標値を優に超えている。</p>
イ	生徒の基礎学力の定着とICTを活用した主体的な学習活動推進、探究的な学びの教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や家庭学習等、授業以外の学習時間を有効活用している生徒 80%以上 ・先生はICT機器を効果的に活用して授業を行っていると感じる生徒 80%以上 ・授業において、ICT機器を効果的に使うことを意識している教員 80%以上 ・授業を通して、学力が伸びたと感じる生徒 90%以上 ・生徒が主体的に取り組み、学びが深まる授業を実践している教員 80%以上 	B	B	<p>DX、ICT活用は県内トップクラスだが、「朝学習」の形骸化を懸念している。授業以外の学習時間の有効活用について、生徒・教職員共に目標値に届いていないのが残念である。</p>
ウ	個に応じたきめ細かな進路指導と適切な進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は生徒の進路実現に向けて、きめ細かな進路指導を行っていると感じる生徒、保護者 80%以上 ・キャリア教育において、効果的に外部との連携が図れたと感じる教員 80%以上 	A	A	<p>進路指導の評価の満足度が高く、ビジネス教育を主眼とする静岡の強みが表れている。教職員は現状のキャリア教育をもっと高めたいという現れが数値から見られた。</p>
エ	生徒が充実した学校生活を送るため、行事や部活動、生徒会等の教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事が充実していたと感じる生徒 80%以上 ・部活動が充実し、前向きに活動出来ている生徒 80%以上 ・生徒会、各委員会活動が、生徒主体で行われていると感じる生徒 80%以上 	A	A	<p>部活動の成果（県ベスト16以上）が顕著である。生徒の学校行事・部活動・生徒会活動の満足度が高く、充実していることがわかる。</p>

オ	<p>外部（企業、自治体、学校、地域）との連携を深め、開かれた学校づくりの推進、広報活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、自治体、大学、専門学校、地域との連携活動を通して学びが深まったと感じる生徒 80%以上 ・PTA活動が、今の時代に合った内容だと感じる保護者 70%以上 ・体験入学等の中学生向けイベントのアンケートにおいて、参加して良かったと答える回答を100%に近づける 	A	A	<p>外部との連携に生徒・教職員とも肯定的な評価が高いことから、地域や企業とのつながりの強さからである。</p> <p>DXハイスクールの先進事例や、中学生・保護者に対する「静商で学べる具体的メリット」のさらなる発信が必要である。</p> <p>PTA活動が明るく、協力的な点には満足している。</p>
カ	<p>生徒の心身の健康、教育相談。交通安全、防災、人権教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は生徒が安心して学校生活を送るため、様々な支援をしていると感じる生徒 80%以上 ・登下校時に交通ルールを守っている生徒 80%以上 ・学校は防災訓練等を効果的に実施していると感じる生徒 80%以上 ・職場の風通しが良く、心理的安全性が確保されていると感じる教職員 80%以上 ・人権を意識し、思いやりの心を持って他者と接するようにしている生徒 80%以上 	A	A	<p>自転車の交通マナー（併進等）に生徒の自覚不足が見られるのではないか。ヘルメット着用努力義務化への対応を含めて、交通安全の生徒の意識を問いたい。</p> <p>文化祭で消防や自衛隊の方々の協力をいただいていたイベントは、素晴らしいと思った。</p>
キ	<p>教育環境の整備、業務の精選と効率化、教職員の心理的安全性の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の不備による事故発生0件 ・自分が関わる業務において、精選と効率化が図れたと感じる教職員 80%以上 ・生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員 80%以上 	B	B	<p>家族であれば、親が明るくしていると子どもも心も明るくなるように、先生方が明るければ、生徒も笑顔が増えると思う。先生方も多忙だとは思いますが、親身になって寄り添ってくれた先生の言葉は卒業しても思い出される。ノー残業デーを設けることや業務改善目標をチームやグループで実施するのはどうか。</p>